



やるきほんききさき木佐木

神奈川県議会議員
日本共産党

2025.8.20

木佐木ただまさ news

発行：党横浜北東地区委員会

横浜市鶴見区潮田 3-147-6

TEL：045-511-1021

Profile

- ▶1984 年山梨県出身
- ▶鶴見区馬場在住
- ▶神奈川大学法学部卒
- ▶よこはま健康友の会会長
- ▶横浜東民商顧問

水道料金の減免を訴え 知事は「国の責任」と慎重姿勢



大山奈々子県議会議員は、先の 2025 年第 2 回定例会で一般質問に立ち、物価高騰に苦しむ県民生活を支えるため、県営水道料金の減免を知事に強く求めました。これに対し、黒岩知事は国の責任で対応すべきとの慎重な姿勢を示しました。

「一日一食」生活困窮世帯の窮状を訴え

大山議員は、生活保護基準の引き下げや物価高騰により、県民が「一日一食、入浴は週に一回」「人間として生きる喜びを味わいたい」といった厳しい状況に置かれていると指摘。昨年から段階的に値上げされている県営水道料金が、こうした生活困窮世帯にさらなる追い打ちをかけていると訴えました。

その上で、東京都が今夏、一般家庭向けの水道基本料金を無償化する方針を固めたことなどを例に挙げ、「県としても困窮世帯向け水道料金の減免を行うべき」と、知事の見解を質しました。

知事、国が対応すべきと責任回避

これに対し黒岩知事は、県営水道ではすでに児童扶養手当の受給世帯や障がい者世帯などに対して一定の減免措置を講じていると説明。その上で、「水道料金の減免等は自治体間格差が生じないように、国の責任により必要な措置を講じるべき」との考えを示し、県独自の減免拡大には慎重な姿勢を見せました。

「格差是正こそ県の役割」

大山議員は、「東京に文句を言うのではなくて、地域間格差を生じさせたくないのであれば、せめて県としてそれを縮める努力をすることこそが知事の役割だ」と反論。生活保護世帯への水道基本料金の減免に必要な財源は水道事業予算の約 0.3%に過ぎないと具体的な数字を挙げ、「夏場だけでも支援に踏み切る姿勢が、県民の希望となる」と、改めて減免の実施を強く要望しました。

県民の暮らしに責任を持つ県政にするべく引き続き力を尽くします。

横浜市、川崎市、相模原市の 消費者物価指数 (2025年3月分速報値)

2025年3月分速報

横浜市	総合指数	110.7	前月比	0.4	前年同月比	3.4
川崎市	総合指数	109.5	前月比	0.4	前年同月比	3.1
相模原市	総合指数	111.2	前月比	0.4	前年同月比	4.0

2025年3月分【横浜市、川崎市及び相模原市の消費者物価指数速報（令和2（2020）年（=100）基準）】

県HP「消費者物価指数3月分結果（2025年5月掲載）」抜粋

youtube でも解説しています→



毎月 無料生活・法律相談

TEL045 (504) 5121 鶴見区潮田町 2-120-2

あなたの力を貸してください！党鶴見区後援会へご参加ください。